

北九州市子ども ノンフィクション 文学賞

自治体情報

人 口 991,447人

標準財政規模 236,184,688千円

担当課 福岡県 北九州市 企画文化局文化振興課

電話 093-582-2391

ホームページ <http://www.kcnfla.com/index.html>

事業期間 平成21年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

本市は、明治期に森鷗外が小倉に着任以降、杉田久女、林芙美子、火野葦平、松本清張などの優れた文学者を輩出し、同人誌活動も多彩であった。また、本市主催の自分史文学賞は今年度20回を迎える。この豊かな文化の土壌を未来へ受け継いでいく。

2 事業内容（目的・目標・方策）

(1) 目的

本市は、平成20年12月に「元気発進!北九州」プラン（北九州市基本構想・基本計画）を策定し、まちづくりの基本は「人づくり」であるという考え方のもと、教育・子育て日本一を実感できる環境づくりを目指すものである。

また、文学に親しむことで、人は想像力を豊かにし、考える力や表現力を養い、他者への理解を深めることができる。なかでもノンフィクションは、見たり、聞いたり、体験したことに問題意識をもち、調査や取材によって真実に迫ろうとするものである。

最近ではコンピュータの作り出す仮想空間を、現実と混同する傾向がみられる。子どもたちが実在の人間や社会に関心をもち、いかに生きるべきかを考えるきっかけとしたい。

(2) ジャンル

ノンフィクション（ルポルタージュ・旅行記・伝記・記録・ドキュメントなど）

自分の身のまわりで、見たり、聞いたり、体験したりしたことの中で疑問に思ったこと、驚いたこと、興味をもったことを自分の力で調べたり、考えたりして、作りごとを加えずに自分自身の言葉で書く。

(3) 対象

全国の小・中学生

(4) 受付期間

平成21年8月1日（土）～11月30日（月）



(5) 審査員 (4名)

ノンフィクションや児童文学などのジャンルで活躍される作家の中から、本市出身や子どもの育成に関心の深い方をお願いした。

佐木 隆三 (直木賞作家、北九州市立文学館館長)

那須 正幹 (児童文学作家、日本児童文学者協会会長)

最相 葉月 (ノンフィクションライター)

リリー・フランキー (イラストレーター、小説家、絵本作家など)

(6) 賞

小学生の部、中学生の部でそれぞれ選考する。

各部門 大賞 1編、佳作 2編、特別賞 4編

(7) 主催:北九州市 / 協賛 日本児童図書出版協会

後援 社団法人 全国学校図書館協議会

<http://www.kcnfla.com/index.html>

3 施策の開始前に想定した事業効果

文学作品を書くことをとおして、子どもたちの想像力や表現力などを涵養し、時代の地域文化を担う人材を育成することができる。

心身すべての五感をおして様々な形で一編の作品としてまとめるという体験を、たくさん子どもたちに経験してほしい。その後の成長の礎を築ききっかけとしたい。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

類似の文学賞がなく、自分史文学賞で既に実績を持つ北九州らしさが発揮できるジャンルを募集対象とするよう工夫した。

今後は、認知度を高め、多数の応募者を募るとともに、質の高い文学賞に育てていく。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

今後のスケジュールについては、8月から11月まで作品受付を行い、平成22年2月に審査の結果を発表する。

予算関連データ 北九州市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
15,000千円		0千円	0千円	0千円	0千円	15,000千円
①～④の名称・所管等	名称					
	所管					
	金額					
	補助率					